

演 研  
芝居小屋

演

研  
入口

演 研  
芝居小屋

本日上演

演 研  
芝居小屋

劇団演研  
30年の歩み

# 劇団創立から大通茶館時代

75年12月1日 集団結成

※「活発な日常活動を継続することにより、地域に根差した創造活動を!!」を旗印に、帯広演劇研究会を結成。宮森則子、大内俊弘、片寄晴則を中心に9名の団員でスタート。6ヶ月間の基礎訓練期間をもち、結束を固める。

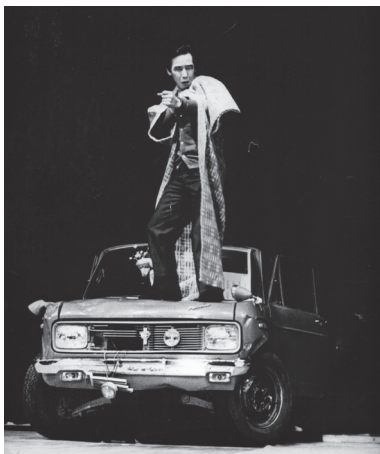
11月 第4回公演「気を沈めてよおかあさん」

作 ミーガン・テリー 演出 片寄晴則  
所 シネマアポロン2F

※映画館の2階の無機質な空間に工事用の足場で装置を組む。

76年11月 試演会「僕らは生まれ変わった木の葉のように」

作 清水邦夫 演出 片寄晴則  
所 勤労者福祉センター



試演会「僕らは生まれ変わった木の葉のように」

第1回公演は、試演会という形で行う。場所は勤労者福祉センター大ホール、定員400名のホールに立ち見まで出る大盛況だった。

79年6月 代表の片寄が転勤で、帯広を離れる。残った団員たちは、市内劇団の

合同公演「奇跡の人」に参加。



80年4月 喫茶大通茶館開店

※片寄が仕事を辞め、喫茶店を開業する。以後、芝居小屋が出来るまで、全ての公演が大通茶館で行われる。

6・10・12月

あすたら主催「詩の朗読会」で群読発表。

81年3月 第5回公演「劇的なものへの序章」

構成・演出 清水章子

77年11月 第2回公演「気を沈めてよおかあさん」

作 ミーガン・テリー 演出 片寄晴則  
所 ランチョ・エルパソ

※旭川の劇団「河」との交流に刺激を受け、初めての小劇場スタイルの公演を行う。ランチョ・エルパソの2階の20畳足らずの空間であった。

78年7月 第3回公演「木蓮沼」

作 石澤富子 演出 片寄晴則  
所 ランチョ・エルパソ

※満員で入場できなかった観客6名の為に初の追加公演を実施した。



第5回公演「劇的なものへの序章」

詩の朗読会での発表をもとにした群読と構成劇。初日入場者数88名は、大通茶館での最高記録。追加公演の打ち上げ後、外に出ると30cmもの積雪だった。

82年7月 第6回公演「楽屋」

作 清水邦夫 演出 片寄晴則

※片寄、大通茶館で初のしかも4年振りの演出作品に挨拶で思わず落涙する。坪井志展、演研デビュー作。

83年8月 第7回公演「受付」

作 別役 実 演出 片寄晴則

※5年振りに復帰の佐久間孝と坪井の2人芝居。



84年7月 第8回公演「ザ・シエルター」

作 北村 想 演出 片寄晴則

※これまでの演研の芝居とは一線を画す笑いの多い芝居に挑戦。上村裕子・小学生役、富永浩至・おじいちゃん役での演研デビュー。

11月 第9回公演「木蓮沼」

作 石澤富子 演出 片寄晴則

※部田泰恵子、坪井、上村の3人娘が20代前半の勢いで、女の情念に挑戦。国家の犠牲になった女達を熱演。



85年 創立10周年にあたり劇団名を現在の「演研」に改称。10周年記念誌を発行する。

7月 第10回公演「飛龍伝」

作 つかこうへい 演出 片寄晴則

※公演直前に役者（富永）が事故で入院、5月公演が7月に延期になった。

11月 第11回公演「鏡よ鏡」

作 石澤富子 演出 片寄晴則

※10年間稽古場を守ってきた種田栄子が初主演、そして翌春に結婚して引退。OCTVで放映される。

86年10月 第12回公演「檸檬」

作 竹内純一郎 演出 富永浩至

※富永、初の演出作品。ラストシーンでは百個のレモンを天井から降らせる。千秋楽には、観客にレモンのプレゼントを。

87年3月 第13回公演「花のさかりに死んだあの入」

作 清水邦夫 演出 片寄晴則

※演研作品の中で登場人物が最多の9人。しかしその後、結婚や就職など様々な理由で退団者続出、団員数激減。

10月 第14回公演「かごの鳥」

作 別所 文 演出 片寄晴則



第14回公演「かごの鳥」

片寄を含め、実質4人の団員でつくった芝居。本水で舞台に雨を降らせた装置と、部田、上村のパワフルな演技が評判に。

88年3月 第15回公演「熱海殺人事件」

作 つかこうへい 演出 片寄晴則

※富永が在籍していた頃から交流のある帯広畜産大学の演劇部「演劇アンサンブル」との合同公演。

9月〜89年12月ロングラン公演

第16回公演「トイレはこちら」

作 別役 実 演出 富永浩至

※月1回で1年間のロングランという初の試みを行う。片寄が久しぶりに役者復帰した作品。



11月 第17回公演「いつかみた夏の思い出」

作 市堂令 演出 富永浩至

※5人の出演者全てが4度の衣裳早替わり。そして、劇中の一芸披露に苦勞する。

# 芝居小屋時代

90年3月 演研芝居小屋完成

※念願の常設の稽古場兼劇場を持つことに。団員たちの手で民家を改造する。以降、同所が活動の中心になる。

4月 第18回公演「木蓮沼」柿落とし公演

作 石澤富子 演出 片寄晴則



## 第18回公演「木蓮沼」柿落とし公演

念願の芝居小屋、その柿落とし公演は、結婚や出産で引退していた坪井と部田が一時復帰しての舞台だった。

7月 第20回公演「ラヴ・レターズ」

演出 片寄晴則

※富永・上村コンビによる大人の芝居。10月に釧路へ初の出立公演。以降、釧路の劇団「北芸」と相互乗り入れ公演が始まる。

10月 釧路公演「ラヴ・レターズ」

所 駅前芝居小屋

11月 第21回公演「ラヴ・レターズ」

※アンコール公演として帯広での再演。

92年6月 第22回公演「楽屋」

作 清水邦夫 演出 片寄晴則

※赤羽美佳子が4年振りに舞台復帰。

内山裕子、平山ゆり演研デビュー。

10月 第23回公演「薔薇十字団・渋谷組」

作 清水邦夫 演出 片寄晴則



10月 第19回公演「今は昔、栄養映画館」

作 竹内銃一郎 演出 片寄晴則

※本番中にズボンが破れ、冷や汗をかいたのも懐かしい思い出。この公演を観に来てくれた北見の劇団「動物園」との交流が始まる。

91年3月 心の健康フェスティバル参加

「今は昔、栄養映画館」

所 帯広市総合福祉センター



## 第23回公演「薔薇十字団・渋谷組」

「ラヴ・レターズ」に続く、富永・上村コンビによる大人の芝居。舞台上に30個のスタンドに灯がともる。その後、この作品は再演を重ね釧路、札幌でも上演される。



93年6月 第24回公演「救いの猫・ロリータはいま…」

作 清水邦夫 演出 片寄晴則

※舞台は図書館、約三〇〇冊の本を持ち寄る。

11月 平成五年度帯広市文化奨励賞受賞

11月 第25回公演「トイレはこちら」

作 別役 実 演出 片寄晴則

※公演当日が授賞式と重なり、終演後、観客全員に祝酒を振る舞う。



7月 第29回公演 朗読劇「この子たちの夏」

構成 木村光一 演出 片寄晴則

※帯広市民文化ホールでの初の上演。創立メンバーの清水章子・村上祐子が10数年ぶりに舞台に立つ。

10月 第30回公演「恋愛日記」

作 竹内銃一郎 演出 片寄晴則

※佐久間が10年振りに舞台復帰。すき焼きの匂いが舞台に充満する。



94年5月 釧路公演「薔薇十字団・渋谷組」

所 駅前芝居小屋

7月 札幌公演「薔薇十字団・渋谷組」

所 琴似駅前劇場

※初の札幌公演。平戸間の何もない空間のため、舞台づくりが一ヶ月間劇場を借り、休日毎に日勝峠を越えた。

11月 第26回公演「薔薇十字団・渋谷組」

95年 20周年記念連続公演

※1年間で何本の公演が出来るのか？限界に挑戦。

4月 第27回公演「朝に死す」若衆公演

作 清水邦夫 演出 片寄晴則

※新人、山田知子・福崎米蔵による二人芝居。

7月 第28回公演「思い出せない夢のいくつか」

作 平田オリザ 演出 片寄晴則



第28回公演「思い出せない夢のいくつか」  
20周年記念連続公演の第2弾。当時横浜に住んでいた坪井がこの公演のために一時帰郷する。作者に観ていただくという、初めての経験。全員緊張でガチガチとなった。

96年10月 第31回公演「飛龍伝―ふたたび―」

作 つかこうへい

演出 片寄晴則

※劇団内では今の時代に即しているかとの議論もあったが、70年代の熱い青春像が若い観客に支持される。



97年7月 第32回公演「あなたがわかったと言うまで」

作 杉浦久幸 演出 片寄晴則



第32回公演  
「あなたがわかったと言うまで」  
杉浦久幸という新しい作家との出会い。富永、役作りのためにダイエットに成功。



### 演研芝居小屋

団員たちの手で民家を改造してつくった稽古場兼劇場。  
1990年に柿落とし、そして2001年に取り壊されるま  
での11年間に、演研の21公演のほか、他劇団の公演  
やアコースティックライブなど様々な催しが行われた。

2000年10月7日、「隣にいても一人」の初日終演後。  
東京から駆けつけてくれた平田氏を囲んで。



### 平田オリザ氏との交流

95年、道内で初めて平田作品（「思い出せない夢のいくつか」）を上演し、また偶然にもその年、平田氏のワークショップが1年間という長期にわたって行われた。それ以降、親しくお付き合いいただいている平田氏は、「アマチュアの枠組みの中で高いクオリティーを追求していく演研の姿勢はすごい。中央志向を持つ劇団があふれる中で、帯広にとどまることを宣言しつつ、高い質を維持している」と私たちの活動を評価して下さり、創立25周年記念公演に新作を書き下ろして下さった。



9月 北見公演「あなたがわかったと言うまで」

所 ライブハウスタ焼けまつり

※北見の劇団「動物園」との交流により、初の北見公演が実現する。

11月 第33回公演「ラブ・レターズ」

演出 片寄晴則

※富永に代わり、佐久間・上村コンビでの再演。

98年7月 第34回公演「走りながら眠れ」

作 平田オリザ 演出 片寄晴則

11月 第35回公演「うしろの正面だあれ」

作 別役 実 演出 片寄晴則

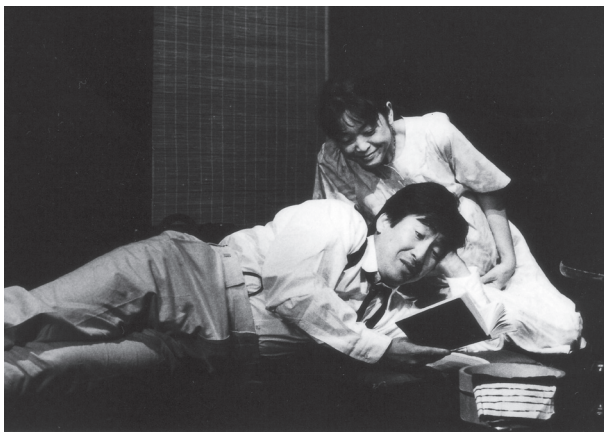
※舞台は廃品の山、そこで繰り広げられる不条理劇。福澤和香子デビュ。

99年 三都市連続公演「走りながら眠れ」

5月 釧路公演 所 波止場の芝居小屋

5月 帯広公演 所 演研芝居小屋

6月 北見公演 所 ライブハウスタ焼けまつり



### 第34回公演「走りながら眠れ」

大正末期、短い生涯を駆け抜けた大杉栄と伊藤野枝の最期の2ヶ月間の日常を描いた作品。以後再演を重ね、演研の代表作となる。



7月 第37回公演 朗読劇「この子たちの夏」

所 音更町文化センター小ホール

11月 第38回公演「恋愛日記」

作 竹内銃一郎 演出 片寄晴則

※劇団「夢幻」との合同公演。野口利香、初舞台。

00年 創立25周年企画平田オリザ連続公演

4月 第39回公演「思い出せない夢の

いくつか」

※初演の上村に代わり、福澤が貴

和子役での再演。

6月 第40回公演「走りながら眠れ」

所 シアターカマボコ

※苦小牧4丁目劇場との交流より、初の苦小牧公演が実現。作者平田オリザ氏が苦小牧に現れ、ビックリ。

10月 第41回公演「隣にいても一人」

作 平田オリザ 演出 片寄晴則



### 第41回公演「隣にいても一人」

創立25周年企画の最後を飾る、平田オリザ新作書き下ろし公演。この作品が芝居小屋での最後の公演に。





# 芝居小屋以降

01年5月 11年間、拠点としていた芝居小屋が取り壊される。  
6月 主要メンバーの一人、佐久間孝が交通事故により急死。  
10月 第1回道東小劇場演劇祭開催



第1回道東小劇場演劇祭  
釧路・北芸、北見・動物園とともに道東小劇場ネットワークを形成して10年。3劇団が一堂に会して一挙上演の試みは、ゲストの鐘下辰男氏の軽妙なアフタートークもあり、好評を博する。

10月 第42回公演「夫婦善哉」演劇祭参加作品

作 平田オリザ 演出 片寄晴則  
所 ライフホール・メガストーン

※記念すべき第1回の演劇祭には、5年間の独占上演権をいただいた「隣にいても一人」で臨むことを決めていた矢先、佐久間の急死で上演が不可能に。急遽、平田氏が龍昇企画（東京）に書き下ろした「夫婦善哉」の3人バージョン（龍昇企画の上演は5人バージョン）を、残った3人役者で上演することに。



02年2月 第43回公演「走りながら眠れ」

in 鹿追演劇祭

作 平田オリザ 演出 片寄晴則  
所 鹿追町民ホール

※鹿追演劇祭に札幌のTPSと共に招かれる。青年団方式で鹿追町民ホールの舞台上に客席をつくり上演する。

6月 札幌公演「走りながら眠れ」

所 アトリエシアターZOO  
※8年ぶりの札幌公演。Wカップと巨人戦、そしてYOSAKOIとイベントが重なり、動員に不安があったが2ステージとも満席となる。





第45回公演「隣にいても一人」

佐久間の急死により、一度はあきらめた再演も、青年団より大塚洋氏を客演に招き実現。プロの役者の凄味を目の当たりにし、多くのことを吸収する。

9月 第47回公演「隣にいても一人」

所 大通茶館

※再び青年団より大塚氏を客演に迎えての再々演。初の東京公演を前に原点に戻るべく、14年ぶりに大通茶館での公演を実施。



9月 第3回道東小劇場演劇祭開催

所 波止場の芝居小屋

※第3回目は会場を釧路・北芸の拠点「波止場の芝居小屋」に移し行われる。アフタートークゲストには女優であり演出家の木野花氏を迎えた。



10月 第45回公演「隣にいても一人」

作 平田オリザ 演出 片寄晴則

所 ライプホール・メガストーン

11月 第2回道東小劇場演劇祭開催  
 ※第1回目同様、3劇団が帯広に集まり一挙上演。前回好評だったアフタートークのゲストには、岸田戯曲賞作家で劇団「燐光群」を主宰する坂手洋二氏を迎えた。



03年6月 第46回公演「救いの猫口リータ

はいま」 新人お披露目公演

作 清水邦夫 演出 片寄晴則

所 ライプホールメガストーン

※金田恵美・宇佐美亮・館律子の若手3人が初舞台を踏む。



10月 道東小劇場演劇祭 in アゴラ開催

所 こまばアゴラ劇場



道東小劇場演劇祭 in アゴラ



1日目ゲスト 鐘下辰男氏



2日目ゲスト松本修氏



3日目ゲスト平田オリザ氏

※青年団の拠点でもある東京・こまばアゴラ劇場で3日間、3劇団で9ステージを行う。アフタートークのゲストは日替わりで鐘下辰男、松本修、平田オリザの各氏を迎える。平田氏より「演劇の中心が必ずしも東京ではないことが、お客さんに分かってもらえたと思う」との言葉をいただく。

04年5月

第48回公演 春のアトリエ公演 「忠臣蔵ー劇団編ー」

作 平田オリザ 演出 富永浩至

所 大通茶館

10月 第4回道東小劇場演劇祭開催

※再び会場を帯広へ戻し開催。

ゲスト演目として青年団「ヤルタ会談」を招き、4劇団での演劇祭。恒例のアフタートークはヤルタ俳優陣に。

10月 第49回公演 「走りながら眠れ」

作 平田オリザ 演出 片寄晴則

所 ライブホール・メガス

トーン

※演劇祭翌週は演研だけの公演に。帯広では99年以来5年振りの再演。



05年

1月 創立30周年記念連続公演

第50回公演 「忠臣蔵ー保育士編ー」

作 平田オリザ 演出 富永浩至

所 大通茶館

※初の厳寒期公演に挑戦。神山善仁初舞台、そして16年振りの片寄晴則が役者として舞台を踏む。

そして・・・

5月 第51回公演 「夫婦善哉」

作 平田オリザ 演出 片寄晴則

所 大通茶館

7月 第52回公演 「楽屋」

作 清水邦夫 演出 片寄晴則

所 ライブホール・メガストーン

11月 第53回公演 鐘下辰男新作書き下ろし「タイトル未定」

作 鐘下辰男 演出 片寄晴則

所 ライブホール・メガストーン



第48回公演「忠臣蔵ー劇団編ー」

富永16年振りに演出に挑戦。鈴木えりか初舞台。そして25年振りに村上祐子が小劇場の舞台に復帰、とぼけた味が好評を博す。



創立 30 周年、おめでとうございます！私たちは演研を応援しています。

 <p><b>クボタ自動車販売株式会社</b> 音更町木野大通西 2 丁目 1</p> <p>中古車センター：TEL(0155)31-2700 FAX(0155)31-7897 サービス工場：TEL(0155)31-2150 FAX(0155)31-1231 西 帯 広 店：TEL(0155)61-1500 FAX(0155)61-1515 ホームページ <a href="http://www.kubota-car.co.jp/">http://www.kubota-car.co.jp/</a> Eメール <a href="mailto:info@kubota-car.co.jp">info@kubota-car.co.jp</a></p>	<p>昔も今もこれからも 味を大切にする気持ちは変わりません</p> <p>中華料理の <b>金時</b> 根岸 勇隆</p> <p>おびひろ西 1 条南 9 丁目 電話 代表23-4176</p>
 <p>いろいろな気持ちを大切にしたいお店です。</p> <p>パッケージハウス <b>コヤマ</b></p> <p>帯広市東 1 条南 13 丁目 17 番地 ☎0155-22-5566 【営業時間】AM9:00~PM6:30 定休/日・祝日</p>	<p>信頼と安心をお届けする</p> <p>灯油・重油・プロパン・各種暖房器具販売修理 太平洋海底炭・オイルコークス・石炭コークス</p> <p>△ <b>木村石炭</b> 帯広市西 5 条南 2 丁目 13 TEL(代) ㊤ 2 4 7 7 番 FAX ㊤ 2 3 7 7 番</p>
 <p>TOMOYUKI FUSHIMI</p> <p><b>DENTAL OFFICE FUSHIMI</b></p> <p>4-5CHOME.1JODORI MIDORIGAOKA OBIHIRO.HOKKAIDO.JAPAN PHONE:0155-22-4180 F A X:0155-22-8241</p>	
 <p>一般住宅のリフォーム受けたまわります。</p> <p>商業施設・店舗企画・設計・施工・監理・店舗機材 マネキン人形・ディスプレイ器具・特注家具什器 イベント企画設営・VPディスプレイ・サイン看板</p> <p>株式会社 <b>ディスプレイアール</b> SPASE COMMUNICAION CREATOR</p>	<p>■本社・帯広店・企画部・SD部 帯広市西 8 条南 6 丁目 問屋町 ☎0155-22-2151・FAX22-2164</p> <p>■製作工房 帯広市西 18 条南 1 丁目 2-16 ☎0155-33-8356・FAX33-8357</p> <p>○釧路店○北見店○札幌分室 ○旭川分室○苫小牧分室</p>